

fisher-price®

五感いっぱい、 わくわくを。

プログラム



監修：細井香先生

東京家政大学 准教授・医学博士
日本アタッチメント育児協会 顧問理事
「あそび発達インストラクター養成講座」
発達あそびの監修者

遊びこそが、子どもの活動の本質です

0～3歳は、日常のすべてが「遊び」、遊ぶことこそが「発達」です。

「発達あそび」は、どれも運動・認知・情緒の発達を豊かに促してくれます。

その中から、お母さん、お父さんとお子さんが、いつでも、どこでもできる遊びと、身近なものや玩具を使った遊びをご紹介します。

毎日の育児のなかで、お母さん、お父さんといっしょに遊ぶことで、発達課題をクリアし、豊かな成長を促してあげてください。



からだ



あたま



こころ

を豊かに育てる発達あそび

P2

STEP
1

月齢：生後 0～12か月

発達あそび 1期 (0～3 か月)

発達あそび 2期 (3～6 か月)

発達あそび 3期 (6～9 か月)

発達あそび 4期 (9～12か月)

P6

STEP
2

月齢：生後 12～24か月

発達あそび 5期 (12～15か月)

発達あそび 6期 (15～24か月)

P7

STEP
3

月齢：生後 24～36か月

発達あそび 7期 (24～36か月)

発達テーマ

五感刺激であそぶ・たのしむ・まなぶ

光や音、動くものに対して、「ジッと見る」、「追視する」といった反応をしめします。
この時期の**五感刺激**は、その先の発達の土台となるとても重要なアクティビティです。
特に「**視覚・触覚・聴覚**」の発達が大事なので、遊びをとおしてたくさん刺激してあげてください。

視覚でいうと、まだ視力は弱いのですが、白黒赤や原色のようなコントラストの高い配色や幾何学模様は、
脳への刺激が強いため、赤ちゃんも好みますし、発達もより促します。

触覚は「にぎる」や「つまむ」などの運動とも関連しています。
さまざまな触り心地の素材を楽しませてあげることで、五感刺激と運動発達を促します。

聴覚は、好奇心や情緒と関連しています。
いろんな種類の音や音楽をきくことで、五感をとおして、好奇心や探求心を育てます。
また、たくさん声かけしてあげることで、自尊心の育ちが促されるだけでなく、
言語野にも働きかけ、その先の言語発達・認知発達(頭のよさ)にもつながります。

発達あそび 1期(0～3か月)

抱っこでギュッ

- 横抱きで、やさしくゆらゆらしてあげる
- 首に手を添えながら縦抱きにして、軽くぎゅっと抱きしめたり、指でとんとんしたりする
- 赤ちゃんの反応に合わせて、「たのしーねー」などと声かけしてあげる



細井先生からの遊びのポイント

赤ちゃんへのスキンシップと、お母さん、お父さんの語りかけは、情緒を育てるとともに、脳刺激にもつながります。



\\ フィッシャープライスからママ・パパへのおすすめ! /

バウンサーにのせて 「抱っこでギュッ」あそび

インファント・トドラーロッカー

- バウンサーにのせて揺らしながら、「ゆ～らゆ～ら、ゆれてるねー! 気持ちいいねー」などと声かけします。
- ぶら下がったおもちゃを鳴らして、「なんか音がしたねー」、音楽を鳴らして、「きれいな音楽だねー」などと語りかけることで、五感だけでなく、情緒も育みます。
- ロッカーの自然な揺れで前後にゆらゆらするので、ママパパの負担を軽減します。



発達あそび 2期(3~6か月)

聞こえるかな!

- ベッドの柵などに、赤ちゃんの手や足が届く位置に音のなるおもちゃをつける
- 音が鳴るたびに、「きれいな音だね、楽しいね!」など声をかけてあげる



細井先生からの遊びのポイント

触ると音がなる因果関係はまだ理解できないが、音がなる時とならない時があるという変化には気づくことができます。あおむけ寝の赤ちゃんが、ぶら下がった玩具の音を聞いて興味をもったり、お母さん、お父さんと一緒に遊んだりすることで、たくさんの刺激をもらい、その先の好奇心につながります。

\\ フィッシャープライスからママ・パパへのおすすめ! / プレイジムで「聞こえるかな!」あそび



パーフェクトセンス デラックスジム

- ジムのアーチにおもちゃがたくさんぶら下がっている遊び環境は、この時期の赤ちゃんの五感発達にとって理想的です。
- 一つ一つの玩具の色や手触り、音の違いが五感を刺激し、音の鳴らしかたにも違いがあります。
- このジムは、マットの方にもしかけがあるため、おすわりが出来るようになった赤ちゃんは、マットとアーチ両方に興味が広がり、好奇心を引き立ててくれます。



おもちゃをつかむ

- 布製のやわらかい音が出るおもちゃを、手に持って遊ばせる
- 最初は、音を鳴らして赤ちゃんの興味をひいてから手渡す



細井先生からの遊びのポイント

目で見たものに興味をもつこと、好奇心のめばえに繋がります。おもちゃに目をやり、自ら手を伸ばすことで、視覚と手の調和を促します。

\\ フィッシャープライスからママ・パパへのおすすめ! / ジャンパーにのって 「おもちゃをつかむ」あそび



レインフォレスト・ジャンパーII

- 首がすわってきたら、ジャンパーに乗せて、ママ、パパが正面から向かい合って遊ぶことができます。(寝ているときとは違う見え方、かかわり方ができる)
- 赤ちゃんが目で追っているもの、手を伸ばしたものの音をならしたり、動かしてあげたりします。
- ジャンパーなら、音もならせるので、遊びも対話も広げることができます。



発達あそび 3期(6~9か月)

ダンボールカーあそび

- 赤ちゃんが乗れるくらいの大きさで、へりの浅い段ボールを車に見立てて、赤ちゃんを乗せて遊ぶ
- ゆっくりと引っ張って、移動の楽しさを体験する



細井先生からの遊びのポイント

移動への欲求を育てることで、ハイハイやあんよに繋がられます。



\\ フィッシャープライスからママ・パパへのおすすめ! /



「ダンボールカーあそび」で 移動の意欲が高まったら



おして!しまうまくんのバイリンガル・ウォーカー

- ダンボールカーあそびの次のステップで、移動の意欲の高まりとともに、自然なかたちで、つたい歩きへと移行できます。
- 最初は、ハイハイでしまうまくんのおもちゃへ移動して、おすわりで遊び、おもちゃに興味をもたせることができます。
- ハイハイから、つかまり立ちができるようになったら、つたい歩きのきっかけづくりにもなります。

いれたらでてくるよ

- ボールが入る大きさの箱を用意し、箱の下をあけておいて、上部に穴をあけておく
- 上から箱に入ったボールが、一度視界から消えて、再び箱の下から出てくるようすを見せる



細井先生からの遊びのポイント

視界から物が消えても、その物が消滅したわけではないことを体験的に理解します。短期記憶・自我のめばえの入り口である原因と結果の論理を、体験から学ぶことができます。



\\ フィッシャープライスからママ・パパへのおすすめ! /

おもちゃをつかうと 「いれたらでてくるよ」遊びが もっとひろがります



ポンポンメロディ・ブルーダイノ

- 背中のボールが飛び跳ねることで、ボールを背中に入れる動作への好奇心がわきます。(遊びの入り口となります。)
- 「ボールをダイノの背中に入れると、口から出てくる」という一連の動作を何度も遊びの中で体験することで、原因と結果の論理が体験的に身に付きます。

発達あそび 4期(9~12か月)

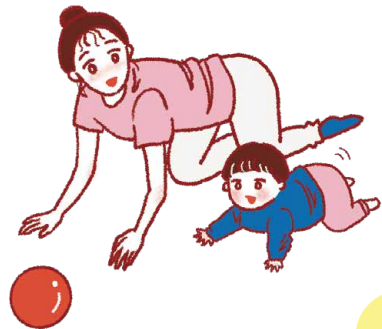
ボールでハイハイ

- ボールを転がし、そのあとを大人が追いかける
- 子どもがボールを追いかけるようになったら後ろから励ます
- ハイハイが上手になったら、一緒にハイハイでおいかけっこをすると楽しみが増す



細井先生からの遊びのポイント

ハイハイをたくさんすることで、脚力が育ち、しっかりとした「歩き」につながります。



\\ フィッシャープライスからママ・パパへのおすすめ! /
「ボールでハイハイ」を楽しみながら、
英語にも親しもう!



スピン&ダンス! バイリンガル・ビーボボール

- ビーボボールが自分でころがってくれるので、より活発なハイハイが期待できます。
- ネイティブ英語の歌やかけ声を流せるので、赤ちゃんの興味をひくだけでなく、英語への親しみや英語耳につながる聴覚刺激が期待できます。

つんで、くずして! あそび

- 積み木を積んでくずさせる
- 最初は、布製のソフトブロックが好ましい



細井先生からの遊びのポイント

やりとり、バリエーションによる脳の刺激が期待できます。さらにソフトブロックなら、「つかむ」「ひろう」「なげる」「つみあげる」などの基本動作を安全に体験できます。



\\ フィッシャープライスからママ・パパへのおすすめ! /
「つんで、くずして! あそび」の発展系、
積み重ねあそびに挑戦



ゆらりんタワー(エコ)

- 積み重ねあそびで、指先の基本運動を学べます。
- 揺らしたり、倒したり、起こしたり、積み重ね以外のいろんな動きを体験することができます。
- 大小や順番の概念を学び、認知発達を促します。
- 90%が植物などの再生可能な資源を使用した、地球環境にやさしいおもちゃです。

発達テーマ

遊びから、自律と自己肯定感をえる

「歩く」ようになり、移動の手段を得ます。

いろんなものに興味をもち、そこへ移動する好奇心や、それをつかって遊んでみようという探求心を育てます。遊ぶことで、指先の細かい動きをつかって運動発達がすすみ、そこからいろんな発見をすることで認知発達がすすむ時期です。



この時期の遊びは、体をつかったり、指先を使ったりすること（**運動**）、
「こうかな？」と想像してうまくいったり、いかなかったりして発見すること（**認知**）、

お母さんやお父さんに「よくできたね」「すごいね」とほめてもらって、つぎの遊びに発展させたり、「もう1回やってみようよ」と応援してもらって、もう1回チャレンジすること（**情緒**）、を繰り返して発達をすすめます。こうした遊びのなかには、つねに身近な大人の声かけや、子どもからの発話が関わって、言語発達が急速にすすみます。

こうした遊びをとおしたりとりの中で、この時期の発達テーマである自信と**自己肯定感**がめばえ、**自律心**につながってゆきます。

発達あそび 5期(12～15か月)

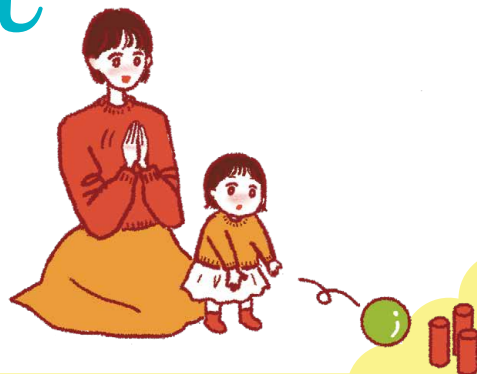
ボールころがし

- 目的物に向かって転がす(ボーリングなど)
- 転がってきたボールをキャッチする
- 距離や、なげる強さなどを調節し、赤ちゃんが楽しめるくらいの難易度で遊ぶ



細井先生からの遊びのポイント

移動する楽しさをふくらませて、身体能力を高めます。
遊びをとおして、運動発達を促します。



\\ フィッシャープライスからママ・パパへのおすすめ! /
ボールを投げてくれるおもちゃで
「ボールころがし」



ローリング・ロビー

- ロビーのなが〜い手でボールをつかんで、投げたボールをキャッチします。
- クルクルまわりながら移動するので、ロビーを追いかけて遊ぶこともできます。
- おしゃべりや音楽などで、言語野にも働きかけます。

発達あそび 6期(15~24か月)

日常のおけいこ

- 貼る、はがす、入れるなど体験する
- ボタンのつけはずし、ジッパー、マジックテープなど、指先の細かい運動を練習する



細井先生からの遊びのポイント

着替えや食事などの「日常のおけいこ」につながります。大人がやり方を教えたり、ほめてあげたりして対話をもつことで、自尊心や自律につながります。



\\ フィッシャープライスからママ・パパへのおすすめ! /



指先の細かい運動で「日常のおけいこ」



感覚を育てよう!コロコロおとそうミツバチ

- コインをつまんで、ハチの巣の上から入れると、中をとおって、左右のどちらかから、コインが出てきます。
- この動作をとおして、原因と結果、ものの構造、動きの作用などの認知概念を体験的・直観的にまなびます。
- 「つまむ」だけでなく、「まわす」「ひっぱる」「めくる」などの指先の細かい運動となる動作がもりこまれています。

fp

STEP
3

月齢：生後15~24か月

発達テーマ

コミュニケーションと社会性のめばえ

2歳をすぎると、言葉が達者になり、大人が言っていることがほとんどわかり、自分が言いたいことも言えるようになります。(コミュニケーション)

前の期(STEP2)のテーマ「自律と自己肯定感」の育ちによって、他者への興味・関心がめばえます。

これまで「お母さん、お父さんといっしょ」に遊んでいたのが、ほかのお友だちに関心をしめし、いっしょに遊べるようになります。

「ごっこあそび」や「まねっこあそび」をとおして、想像力をつかって遊んだり、日常生活で大人がやっていることをまねしてみたりします。

同時にイヤイヤ期でもあります。いろんなことが、ひとりではできる反面、できないこともたくさんあるため、うまくいかない「イヤイヤ」してしまったり、なんでも「じぶんで!」と困らせたりします。

これは、お子さんが、順調に成長している証(あかし)です。

困り行動として問題視するのではなく、成長をよろこぶ視点をもつとよいでしょう。(社会性のめばえ)

fisher-price

五感いっぱい、わくわくを。

ごっこあそび

お家ごっこ

- ぬいぐるみなどを、弟や妹に見立てて、自分が世話をしあげる人になることを体験する
- ぬいぐるみやお人形の着替えをさせてあげたり、ご飯を食べさせてあげたり、普段お母さんやお父さんにしてもらっていることを、してあげる体験をする

電車ごっこ

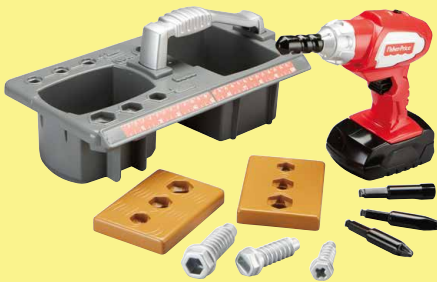
- あらかじめ線を引き線路に見立て、がったんごっとな、その上を電車になりきり走る
- 最初は、一人かお母さんやお父さんと二人で取り組む



細井先生からの遊びのポイント

この時期は、まねごっこが大好きな時期です。大人のマネをして、そこから様々な動きや、協調性、共感性、言葉づかいなどを高度に身につけて、社会性を育てます。

\\ フィッシャープライスからママ・パパへのおすすめ! /
ドリルドライバーで大工さんごっこ!



アクションドリルセット

- 大工仕事のまねをした本格的なごっこ遊びができます。
- ドリルドライバー、ネジやドリルなど本物さながらですが、大きさや軽さ、素材などは安全で、お子さまが扱いやすくなっています。
- 大人のまねごとがしたいこの時期に最適です。



監修：細井香先生

東京家政大学 准教授・医学博士
日本アタッチメント育児協会 顧問理事
「あそび発達インストラクター養成講座」発達あそびの監修者

北里大学医学博士課程修了。専門は予防医学と、保育士養成。子どもの健康について「医学的な知識」が大切だと痛感し、保育現場の経験を経たのち、医学博士取得。大学で教鞭をとりつつ、専門である予防医学の観点から、親子のアタッチメント形成の重要性と、子どもの発達への影響について日本アタッチメント育児協会のカリキュラム作成や講義に協力している。

